



慈生会だより

等潤病院・常楽診療所・イルアカーサ

～ 慈生会より関係各施設、周辺地域の皆様へ～

慈生会 理念 地域と共に生きる慈しみのトータルヘルスケア

【発行元】社会医療法人社団 慈生会 広報戦略委員会

☎121-0075 東京都足立区一ツ家4-3-4

☎ 03-3850-8711 FAX03-3858-9339

ホームページ

<https://www.jiseikai-phcc.jp/>

※新型コロナ情報は、トップページにリンクがございます。



当院は東京
ワークライフ
バランス認定
企業です



当院は
病院機能評価
認定病院に
認定されました

令和4年・新年のご挨拶



いとう まさし
伊藤 雅史

社会医療法人社団慈生会 理事長
等潤病院 院長
東京医科歯科大学医学部臨床教授
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医

新年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。この2年間は世界中がコロナ禍に翻弄され、今も確たる明るい見通しがつきません。等潤病院は地域医療を守るために、特にコロナ疑い救急搬送患者の受入れを積極的に行いましたが、

その結果、救急搬送患者からと思われる2回のクラスターが発生しました。

感染対策には力を入れておりましたので、感染拡大を食い止めることができ、最小限の発生で収束に至りましたが、その間も多くの方々から激励やご支援をいただきましたことを感謝申し上げます。

足立区では約80%の住民の方がワクチン2回接種を終了され、3回目接種も予定されているなど、コロナの克服に明るい兆しが見えてきました。

今年の干支である寅年は、春が来て根や茎が生じて成長し、草木が伸び始める時期とされ、今年こそ厳しいコロナ禍を乗り越えて、成長の礎となる年となることを祈念いたします。

一般内科から糖尿病・人工透析まで幅広く診療いたします



すずき たかふみ
鈴木 剛史

社会医療法人社団慈生会
等潤病院 内科医師
専門：糖尿病・腎臓・人工透析
日本糖尿病学会 糖尿病専門医
日本腎臓学会 腎臓専門医
日本透析医学会 透析専門医

皆様、新年あけましておめでとうございます。

わたくしは昨年4月から当院に入職し、一般内科から、主に糖尿病・腎臓内科、透析科まで、幅広く患者さまを拝見させていただいております。

本邦の「国民健康・栄養調査」の概要によれば、2016年の「糖尿病が強く疑われる者」の数は1,000万人に達しているとの報告があります。また、日本人の慢性腎臓病（CKD）患者は約1,300万人と推計されており、成人の約8人に1人が罹患する“国民病”とも言えます。現在、末期腎不全により透析療法を要する患者数は30万人を超え、未だ増加傾向にあります。

日本透析医学会統計調査の2020年末時点における年次調査では、慢性透析患者数（全体）は347,671人に達しています。透析導入の原因疾患（年度毎）は、

1998年（平成10年）から糖尿病性腎症が1位となっており、その割合は2020年においては全体の39.5%で微増傾向となっています。

糖尿病や慢性腎臓病では、予防・早期発見・早期診断を行い、治療への速やかなアクセスを実現し、疾病や合併症の進行を遅らせることが非常に重要となります。これらの疾病は、加齢に伴う認知症・サルコペニア^{*1}・フレイル^{*2}などにより、患者さんの生活の質（QOL）を低下させる要因となります。そのため、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・技師・理学療法士などからなるチーム医療で、疾患を管理していくことが特に大切です。当院でも各スタッフが密に連携を取り合い、各患者さんの状態を把握し対応にあたらせていただいております。

昨今も新たな薬が数多く上市されており、治療・薬剤に関わることなど、患者さまにとって難解な内容も多くあると思われます。疑問点や気になることは、何でもご相談いただければと思います。

最後に、コロナ禍で何かと大変な環境ではございますが、皆様方にとりまして、この新たな年がより良き年でありますようお祈り申し上げます。

^{*1} サルコペニア：骨格筋量・骨格筋力・身体能力が低下する状態。

^{*2} フレイル：ストレスに対する脆弱性が亢進し、生活機能障害・要介護状態・死亡などの転帰に陥りやすい状態。

外来受診表				受付時間　：　午前／ 8：30～12：00 午後／13：00～16：50			
等潤病院		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
内科	午前	谷口 山田 齊藤	二島 鈴木 西島	谷口 久野木 河尻	山田 鈴木 野呂	久野木 高橋(聡) 西田	山田(第1,3,5週) 川内(第2,4週) 芳賀(第1,3,5週) 二島(第2,4週) 松木
	午後	福泉 阿部(大) 岩瀬	久保田 佐藤(英) 沖田	二島 鈴木	小野(啓) 齊藤	山崎 西田	阿部(大)
呼吸器内科	午前	谷口 齊藤	二島 西島	谷口	野呂	高橋(聡)	芳賀(第1,3,5週) 二島(第2,4週) 松木
	午後	福泉	久保田	二島	小野(啓) 齊藤		
消化器内科	午前			久野木		久野木	
腎臓内科	午前		鈴木		鈴木		
	午後		佐藤(英)	鈴木			
血液内科	午前					西田	
	午後	阿部(大)				西田	阿部(大)
神経内科 (認知症)	午前			河尻			
	午後	岩瀬					
循環器内科	午前	玄	玄	玄	川内 佐々木	玄	山田(第1,3,5週) 川内(第2,4週)
	午後	玄	川内		佐々木	川内(第2,4週)	
糖尿病内科	午前				鈴木		
	午後			鈴木			
漢方外来	午前			河尻			
外科	午前	西 叶 佃	伊藤(雅) 小関	西 渡邊 叶	仁瓶	伊藤(雅) 渡邊(秀) 叶	仁瓶(第1,3,4,5週) 小野(宏)(第2週)
	午後	渡邊	小関 龍	小野(宏) 松永(浩)	仁瓶	松永(浩)	渡邊(第1週) 佃(第3週) 小野(宏)(第2,4,5週)
乳腺外科	午前	叶		叶		叶	
	午後	叶(乳腺検診)		叶(乳腺検診)		叶(乳腺検診)	
整形外科	午前	堀越	湯朝	大澤	深井	小川(剛) 堀越	湯朝
	午後	堀越		大澤 武内(俊)	小川(剛) 深井	堀越	
脳神経外科	午前	徳植	石井	徳植	石井	石井	徳植
	午後				田村		
泌尿器科	午後		横山			田中	相馬(第3週)
皮膚科	午前	伊藤(聖)			伊藤(聖)		
	午後	伊藤(聖)			伊藤(聖)		
リウマチ科	午後			川口(第2,4週)			
内視鏡	午前	久野木	赤澤	小野(宏)	久野木	小関	西
	午後	小関	赤澤	小関	久野木	久野木	
血液浄化 センター	午前 午後	鈴木	佐藤(英)	鈴木	鈴木	伊藤(雅)	(伊藤(雅))
健診	午前	山崎	柳澤	山崎	山崎	山崎	山崎
	午後	山崎 叶(乳腺検診)	柳澤	山崎 叶(乳腺検診)	山崎	叶(乳腺検診)	山崎
他施設の 健康管理	午後		山田	谷口(第2,4週)		谷口(第2,4週)	
常楽診療所		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
内科	午前	阿部(大)	吉永		田澤	谷口	齊藤
脳神経外科	午前		宮崎				
訪問診療		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	午前	伊藤(雅)	沖田	伊藤(雅)			
	午後		吉永	中島	花岡	渡邊(秀)	

注) 学会などへの参加により、休診・代診となる場合がございます。
注) 外来医師体制表は、一部変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

等潤病院・血液浄化センターのご紹介

当院の血液浄化センターは、平成21年4月に開設されました。病床数は10床と比較的小規模で、患者様に十分目が届く環境となっています。そのため、きめ細やかな対応が可能です。

透析専門医を中心に、看護師・臨床工学技士の協力体制の下、安心して治療を受けていただくことができます。なお、専属ドライバーによる外来患者さんの送迎サービスも行っており、自力での来院が困難な患者様にも対応しています。

当センターの特徴は、総合病院というメリットを生かした診療が挙げられます。透析専門医はもちろんですが、各診療科に専門医が揃っているためです。等潤病院は急性期病院であり、体調の急激な変化や救命を要する場合にも対応可能となっています。

現在、透析導入期から透析維持期の外来患者様、各種合併症のある入院患者様、回復期リハビリテーション病棟の患者様の人工透析を実施しております。

透析に必要な不可欠なシャント手術は、シャント造設術からシャント拡張術(PTA)まで対応可能となっています。シャント造設に伴う症状のほとんどは、狭窄・閉塞や感染症です。これらを防ぎ、シャントを長期間使用できるよう、毎回注意深く観察し、患者様のご協力もいただきながら注意点を共有するよう努めています。やむを得ず、狭窄・閉塞となった場合は、シャント拡張術を実施いたしますので、ご安心ください。

なお、当血液浄化センターは、新棟建設に伴い、2023年に新血液浄化センターへ生まれ変わります。病床数を30へ増床し、最新機器を導入する新センターにご期待ください。



現 血液浄化センター



新 血液浄化センター予定地

＜等潤病院・血液浄化センター概要＞

■透析スケジュール

開始時間	月	火	水	木	金	土
午前 8時30分	○	○	○	○	○	○
午前12時00分	○	○	○	○	○	○

■対応可能な治療

- ・血液透析
- ・間歇補充型血液透析ろ過
- ・腹水濃縮ろ過再静注法
- ・エンドトキシン吸着

■当センターの特徴

- ・透析液清浄化ガイドラインに基づく水質管理を実施し、毎月の水質検査では常に超純水透析液を確保しています。
- ・管理栄養士による栄養指導を行っています。
- ・合併症や体調変化への適切な対応が可能です。
- ・定期的なフットチェックと血流評価を行っています。

■ご連絡先

当院での透析ご希望の場合は、患者サポートセンターまでお問い合わせをお願いいたします。

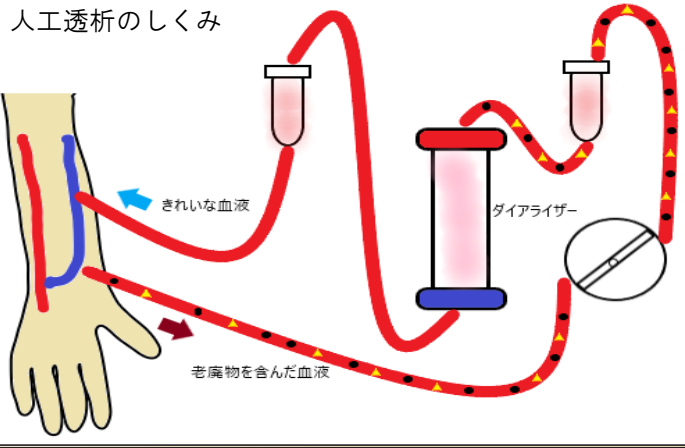
患者サポートセンター
TEL：03-3850-7518(直通)
FAX：03-3850-8715(直通)

===== 人工透析について =====

人工透析とは、病気などの影響で腎臓の機能が著しく低下したときに(腎不全)、人工腎臓を使って血液をきれいにする治療のことです。

血液を体外に引き出し、ダイアライザーと呼ばれる人工腎臓に通します。ダイアライザーで老廃物や余分な水分の除去、電解質の調整が行われ、きれいになった血液を再び体の中に戻します。

健康な腎臓は24時間365日休まず働いていますが、透析は1回3～4時間程度、週2～3回の治療です。そのため、限られた時間では十分に血液をきれいにできません。また、透析で代用できない腎臓の働きもあるため、薬物療法や食事療法を併せて行う必要があります。そのため、日常生活での自己管理がとても大切になります。



等潤病院における医療連携の取り組み

等潤病院では、従前から患者サポートセンター（直通電話：03-3850-7518）を設置しており、医療連携を推進してきました。医療連携とは、限りある医療資源を効果的・効率的に活用するために進められている取り組みです。

団塊の世代が75歳以上となる2025年ごろに起こる問題（いわゆる「2025年問題」）に関して、医療業界はその影響を最も大きく受けると言われてきました。医療における需要と供給のバランスが崩れ、必要とされる方々に十分な医療が行き渡らなくなることが懸念されています。

地域の各医療機関が機能分担と専門化を進めることで、それぞれの地域住民の方々が継続的に診療を受けられる仕組みが医療連携です。

2021年11月に、当院が中心となり、医療連携に関するイベントを開催いたしましたので、概要をご紹介します。今後も「急性期から回復期まで安全で良質な医療を地域の病める人の為に等しく提供します」という等潤病院理念を実現すべく、努めて参ります。

第2回 足立区東部医療連携会
(2021年11月19日(金)オンライン開催)

【講演1】19:30-19:40
コロナ禍における地域医療連携と当院の取り組み
伊藤 雅史 先生(等潤病院 理事長・院長)

【講演2】19:40-20:00
最近の気管支喘息治療の話題
谷口 泰之先生(等潤病院 副院長／呼吸器内科)

【特別講演】20:00-20:45
発見からケアまで 一肺がんの医療連携
久保田 馨 先生
(日本医科大学呼吸器内科学 教授
日本医科大学附属病院がん診療センター部長)

※久保田先生は、当院でも診療をご担当いただいております(火曜・午後)

《御茶ノ水ドクターズネットワークとは?》
平成24年10月から始まった在宅医療の地域ネットワークです。それぞれの専門性を持つ在宅医療クリニック・病院が連携し、患者さんへ質の高い医療を提供することを目的としています。
現在、コーラルクリニック、文京根津クリニック、水道橋東口クリニック、東京在宅ケアクリニック、等潤病院で構成されています。当院は在宅療養支援病院で在宅看取りも行っています。
ネットワークに参画している先生方は、在宅医療に対する意識も高く、それぞれの医療機関は、自院で責任を持って24時間365日在宅医療を提供しています。

御茶ノ水ドクターズネットワーク
第7回 在宅医療セミナー
(2021年11月24日(水)オンライン開催)

【Opening Remarks】18:30-18:40
伊藤 雅史 先生(等潤病院 理事長・院長)

【講演1】18:40-18:50
御茶ノ水ドクターズネットワークと地域における等潤病院の立ち位置
＜座長＞吉田 大介 先生
(東京在宅ケアクリニック 理事長)
＜演者＞小関 啓太 先生
(等潤病院 副院長)

【講演2】18:50-19:50
在宅療養中のCKD患者さんの食事指導
＜座長＞石垣泰則 先生
(コーラルクリニック名誉院長／大村病院院長)
＜演者＞五味裕子 先生
(順天堂大学医学部附属順天堂病院 栄養部)

【講演3】19:10-19:50
在宅患者におけるCKD管理の重要性
＜座長＞任 博 先生(文京根津クリニック 院長)
＜演者＞太田 哲人 先生
(東京都立駒込病院 腎臓内科 医長)

【Closing Remarks】19:50-20:00
辻 彼南雄 先生(水道橋東口クリニック 院長)



伊藤理事長



小関副院長